

金沢市低炭素都市づくり行動計画

~エコシティ金沢 CO2百万トン削減をめざして~

年次報告書 (平成 24 年度実績)

平成 26 年 1 月

金沢市



目 次

Ι	金沢市低炭	素都市づくり行動計画について・・・・・・・・1
I	温室効果ガ	ス排出量とエネルギー消費量・・・・・・・・・2
\blacksquare	平成 24 年	度の市施策の取組状況・実績・・・・・・・・・4
	基本方針1	再生可能エネルギーの利用を推進し、限りある資源を有効に活用 します・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
	基本方針2	日常生活や事業活動の無駄をなくし、環境負荷の少ないエコライフ、 エコオフィスへの転換を図ります・・・・・・・・・6
	基本方針3	公共交通の利用促進と快適に歩ける金沢らしいまちづくりの推進を 図り、人と環境にやさしい交通環境を築きます・・・・・・10
	基本方針4	緑化の推進と森林の再生を図り、二酸化炭素の吸収源の確保と熱環境 の改善に努めます・・・・・・・・・・・・・・・・・13
	基本方針5	廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を進め、循環型社会を形成 します・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

I 金沢市低炭素都市づくり行動計画について

1. 金沢市低炭素都市づくり行動計画とは

市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任をもって地球温暖化対策に取り組み、実効性のある施策を進めていくことで、金沢市の温室効果ガスの排出削減を図り、「金沢らしい低炭素都市づくり」を目指した計画です。

2. 計画の位置づけ

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3でいう区域の温室効果ガスの排出の抑制等を行うための施策に関する事項を定めたもの(区域施策編)であり、本市における地球温暖化対策に係る計画的かつ総合的な計画です。

3. 計画の期間

平成 23 年度(2011 年度)から平成 32 年度(2020 年度)までの 10 年間としますが、概ね5年で見直しを行います。

4. 計画の基本理念と基本方針

基本理念:持続可能な低炭素社会の実現

基本方針1:再生可能エネルギーの利用を推進し、限りある資源を有効に活用します

基本方針2:日常生活や事業活動の無駄をなくし、環境負荷の少ないエコライフ、エコオフィス

への転換を図ります

基本方針3:公共交通の利用促進と快適に歩ける金沢らしいまちづくりの推進を図り、人と環境に

やさしい交通環境を築きます

基本方針4:緑化の推進と森林の再生を図り、二酸化炭素の吸収源の確保と熱環境の改善に努め

ます

基本方針5:廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を進め、循環型社会を形成します

5. 温室効果ガス排出量の削減目標

〒 短期目標 2015 年度に 1990 年度比 ±0% 現状 (2008 年度) から−17% (約 58 万 t CO₂) 削減

中期目標 2020 年度に 1990 年度比 −15% 現状 (2008 年度) から−29% (約 100 万 t CO₂) 削減

🕋 長期目標 2050 年度に 1990 年度比 一76% 現状 (2008 年度) から-80% (約 277 万 t CO₂) 削減

Ⅱ 温室効果ガス排出量とエネルギー消費量

1. 金沢市の温室効果ガス排出量

→ 温室効果ガス排出量

金沢市の2011年度(平成23年度)の温室効果ガス排出量は3,683 千1 $) <math>100_2$ で、前年度より19.7%、基準年度より 100_2 で、前年度より1000 を表

部門別の二酸化炭素排出量を前年度と比較すると、運輸部門と廃棄物部門が減少し、そのほかの部門は増加しました。

(単位:千トンCO2)

		1990年度	2008年度	2010年度	2011年度				
		(基準年)			(H23)	前年比	2008年度比	基準年比	構成比
									(CO ₂ 内訳)
	産業部門	694	406	347	434	25.1%	6.9%	-37.6%	12.0%
<u> </u>	家庭部門	505	834	825	1, 057	28.1%	26. 7%	109.3%	29.4%
酸化	業務部門	621	1,073	905	1, 195	32.1%	11.3%	92.4%	33.2%
炭	運輸部門	855	1,020	868	867	-0.1%	-15.0%	1.5%	24.1%
素	廃棄物部門	56	53	52	48	-7.7%	-10.0%	-14.5%	1.3%
	計	2,732	3, 386	2, 997	3, 601	20.2%	6.3%	31.8%	100.0%
メタ	ン	107	24	30	31	4. 7%	30.9%	-71.1%	
一酸化二窒素		39	46	48	47	-1.6%	3.2%	20.4%	
ハイト゛ロフルオロカーホ゛ン類		5	6	4	4	1.1%	-32.0%	-22.4%	
合 請	+	2,883	3, 462	3,078	3, 683	19.7%	6.4%	27.7%	

₩ エネルギー消費量

金沢市の 2011 年度 (平成 23 年度) のエネルギー消費量は 35, 365TJ (テラジュール=10¹²ジュール) で、前年度より 1.5%減少しましたが、基準年度より 4.0%増加しています。

(単位・10¹²ジュール)

	_						(半江・1	.0 7 1 1/
	1990年度	2008年度	2010年度	2011年度				
	(基準年)			(H23)	前年比	2008年度比	基準年比	構成比
産業部門	7, 653	3, 993	3, 969	3, 869	-2.5%	-3.1%	-49.4%	10.9%
家庭部門	6, 350	8,062	9, 524	9, 313	-2.2%	15.5%	46. 7%	26.3%
業務部門	7, 444	9, 447	9,634	9, 491	-1.5%	0.5%	27.5%	26.8%
運輸部門	12, 547	14, 984	12, 776	12, 692	-0.7%	-15.3%	1.2%	35. 9%
合 計	33, 995	36, 487	35, 904	35, 365	-1.5%	-3.1%	4.0%	100.0%

《前年度から温室効果ガス排出量が増加した理由》

- ●原子力発電所の停止により火力発電量が増加したことで、電力の CO₂排出原単位が増加
- ・発電電力量全体に対する原子力の割合

2010年度: 28% → 2011年度: 1%

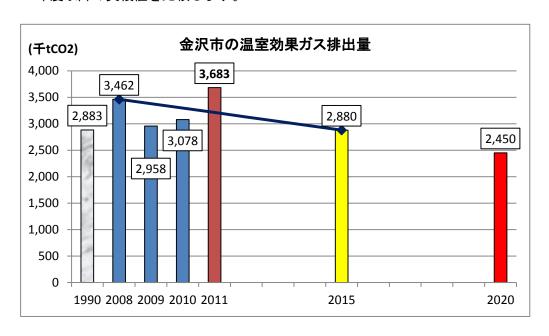
・電力の CO₂排出原単位 (1 kWh あたりの発電の際に排出される二酸化炭素量)

2010 年度: 0. 423kgCO₂/kWh → 2011 年度: 0. 641kgCO₂/kWh

2. 削減目標との比較

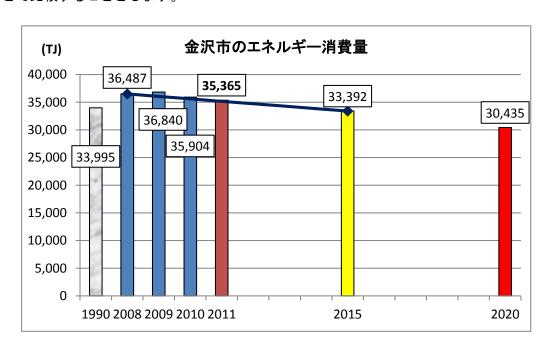
😭 温室効果ガス排出量

計画策定時の実績(2008 年度)と目標値(2015 年度)の温室効果ガス排出量を結んだラインと 2008 年度以降の実績値を比較します。



₩ エネルギー消費量

エネルギー消費量については、具体的な目標値を定めていませんが、温室効果ガス排出量の削減目標を達成するためのエネルギー消費量を設定し、その値と 2008 年度の実績値を結んだラインとで比較することとします。



Ⅲ 平成24年度の市施策の取組状況・実績

5つの基本方針を柱とした施策内容について、平成 24 年度に市が実施した取組内容および 実績を報告します。

基本方針 1 再生可能エネルギーの利用を推進し、限りある資源を有効に活用します

施策 NO	「低炭素都市づくり行動計画」 に掲げた市の施策	平成24年度実施の施策・取り組み	実績
1-1	マイクロ水力発電設備を設置し	します	
		既存水力発電施設の増強計画並びに配水場及び河川維持流量の活用による小水力発電計画を精査し、課題、採算性等を検討	
1	河川や用水にマイクロ水力発電設備を設置	再生可能エネルギー導入等研究会においてマイクロ水力発電の導入につ いて検討	
		マイクロ水力発電活用調査事業により、戸室新保埋立場と本多公園への設置に向けた基本計画を策定	
1-2	パイオマスを有効に活用します	-	
1	木質バイオマススト―ブやボイラーの 設置に対する助成を実施	木質バイオマススト―ブの設置に対して助成	助成件数:14件
2	金沢産材を利用した木質ペレット活	木質エネルギー活用推進検討会の設置 市民フォーラムを開催	
2	用システムを構築	金沢産材を利用した木質ペレットを試作し、市施設に設置したペレットス トーブに使用	ペレット製造量: 15t
		再生可能エネルギー導入等研究会においてバイオマスの活用について検 討	
3	未利用バイオマスの活用 ・	水質浄化や農業用資材等への、竹材の新たな活用方法について調査を 実施	
		金沢エコ推進事業者ネットワークのバイオマス研究会において、バイオマスを切り口に新たなビジネスチャンスを研究	開催回数:3回

₩ 木質ペレットストーブ

木質ペレットは間伐材や製材端材を粉砕して固めた燃料であり、化石燃料 の有効な代替エネルギー源と考えられています。

エネルギーの地産地消や森林保全にも役立つことから、市では公共施設へ 試験的にストープを導入しています。(写真:味噌蔵町小学校)



-3	景観に配慮した太陽光発電設	備の設置を促進します	
_	住宅用太陽光発電設備の設置に対	住宅用太陽光発電設備の設置に対して助成	助成件数:445件
	する助成を実施	伝統環境保存区域における住宅用太陽光発電設備の設置に対して助成 額の上乗せ	申請件数:(上記のうち)43件
2	メガソーラー設備の設置	市の敷地における遊休地(未利用地)の調査を実施し、再生可能エネルギー導入等検討ワーキング及び再生可能エネルギー導入等研究会で検討	
-4	景観に配慮した風力発電設備	や太陽熱利用システムの設置を促進します	
1	住宅用ソーラーシステム(太陽熱利 用機器)の設置に対する助成を実施	住宅用ソーラーシステム設置補助について検討	
2	家庭用小型風力発電設備の設置に 対する助成を実施	家庭用小型風力発電設備設置補助について検討	
-5	再生可能エネルギーの利用を	積極的に推進するための制度や体制を整えます	
1	再生可能エネルギー設備や省エネ ルギー設備等の設置企業等に対し て低金利で資金を融資	中小企業者が、地球温暖化の防止に資する施設の整備や低公害車の導 入をする際の資金を低利で融資	実績なし
2	多種多様な再生可能エネルギーの 利用について、大学と共同研究を実 施	再生可能エネルギー導入等研究会において、再生可能エネルギーの導入及び未利用エネルギーの活用等の可能性について産学官連携で検討し、「再生可能エネルギー導入プラン」を策定	
3	NPOやファンドの設立などによる市 民参加型の市民発電所を設置	「協働のまちづくりチャレンジ事業」で、公募する市民団体と、保育所や幼稚園等に市民発電所を設置するための調査研究を実施	
4	市民が取り組める「グリーン電力証書」や「カーボン・オフセット」制度の 構築	実績なし	
5	市民・事業者に対する各種助成制度 や環境的メリットの情報を提供	ホームページに市の助成制度を掲載	
-6	公共施設における再生可能エ	ネルギーの導入を拡大します	
1	浄水場の導水管に小水力発電設備 を設置	末浄水場小水力発電設備による発電を実施	年間発電量: 293,114kWh
2	市有施設に木質バイオマスストーブ やボイラーを設置	キゴ山ビジターセンター、味噌蔵町・材木町小学校、教育プラザ、市立工 業高校、西部管理センターにペレットストーブを設置	
		公園へのソーラー時計塔の設置	新設: 2基 更新: 2基
3	学校施設、公園施設等市有施設に太陽光発電設備や小型風力発電機	市内小学校へ太陽光発電設備を設置	設置校数:3校(1基ずつ) 定格出力:各10kW
	を備えたハイブリッド型設備を設置	金沢市保健所に太陽光発電設備と蓄電池を設置	太陽光発電設備定格出力:10 蓄電池容量:10kWh
_	市有施設にソーラーシステム(太陽	再生可能エネルギー導入等検討ワーキングにて太陽熱利用を検討	
4	熱利用機器)を設置	 戸室リサイクルプラザにおいて太陽熱利用を継続 	
5	下水処理施設で発生する消化ガスを 都市ガスの原料として精製、利用	消化ガスを都市ガス13Aに精製し、港エネルギーセンターへ供給	年間都市ガス製造量(供給量) 508,267㎡
6	ごみ収集車などにバイオディーゼル 燃料を活用	東部管理センター資源回収用車両に、廃食用油から精製したバイオディー ゼル燃料を使用し、適合性について検証	
7	市有施設に地中熱を利用したヒートポンプの設置	再生可能エネルギー導入等検討ワーキングにて地中熱利用を検討	

基本方針2 日常生活や事業活動の無駄をなくし、環境負荷の少ないエコライフ、エコオフィスへの転換を 図ります

施策 NO	「低炭素都市づくり行動計画」 に掲げた市の施策	平成24年度 実施の施策・取り組み	実績	
2-1	日常生活における省エネルギ	一行動を推進します		
1	省エネ家計簿やエコライフリーフレットの作成・配布、活用	各種イベントや出前講座等で啓発リーフレットや省エネ家計簿等を配布するほか、ホームページにも掲載し、地域・家庭における省エネ実践を啓発	配布等普及活動回数:23回	
2	簡易電力表示器や啓発ビデオ、パネ	「省エネナビ」をモニター家庭に貸出し、電気使用量の見える化により節電を支援	省エネナビ貸出数:62世帯	
2	ル等の貸し出し、活用	夏休みこどもエコ体験講座において簡易電力表示器を貸し出し、こどもが 取り組めるわかりやすい家庭の節電を支援	簡易電力表示器貸出数:27個	
3	地球温暖化防止出前講座の実施、 受講	地球温暖化防止出前講座や講師派遣の実施	出前講座 開催回数:21回 受講者数:1,099人 講師派遣 派遣回数:4回 受講者数:115人	
	 各種環境イベントやエコライフセミ	「かなざわエコフェスタ2012」の開催	エコフェスタ来場者数:7,000人	
4	ナーなどの開催、参加	金沢エコネットへの委託によるイベント及び講座を開催	イベント等開催回数:54回	
		環境にやさしい買い物キャンペーン等を通じて、環境負荷の少ない商品・サービスの提供・購入を事業者・市民に呼びかけ	キャンペーン開催回数:3回	
5	負荷の少ない商品の購入など「環境 にやさしい買い物」を推進	県等と連携してレジ袋削減に関する協定締結企業を拡大	協定締結事業者数:25社 マイバッグ持参率:87.9% (平成24年度末現在)	
6	省エネ行動など、他の模範となる優れた環境保全活動をしている個人・ 団体・事業所を表彰	環境保全に関して積極的に活動した市民・団体・事業者を表彰する「いい ね金沢環境活動賞」を実施	表彰者数 環境保全の部: 5件 地域美化の部: 12件	
	ー る テレビ広報、新聞広報、ホームペー (:	るほか、ホームページにも掲載し、地域 テレビ広報、新聞広報、ホームペー (再掲2-1-1)	各種イベントや出前講座等で啓発リーフレットや省エネ家計簿等を配布するほか、ホームページにも掲載し、地域・家庭における省エネ実践を啓発 (再掲2-1-1)	配布等普及活動回数:23回
7	ジ等により、環境に関する様々な情報を発信 	テレビ広報を作成し、リビングかなざわや新聞にも情報を掲載	リビングかなざわ掲載数:1回 新聞広報掲載数:特集欄2回 広報番組作成数:4番組	
8	携帯電話やパソコンのメールで環境 情報を配信	公式フェイスブックページに、省エネに関する情報を掲載	フェイスブック掲載数:44件	
9	金沢版エコポイント制度の創設	実績なし		
10	市民の省エネ行動によるCO2削減量の「見える化」を進める仕組みの構築	「省エネナビ」をモニター家庭に貸出し、電気使用量の見える化により節電を支援(再掲2-1-2)	省エネナビ貸出数:62世帯	
11	「地球温暖化防止活動推進員」や 「地球温暖化防止活動推進セン ター」と連携した活動を実施	活動推進センター指定について検討		



かなざわエコフェスタ

再生可能エネルギーをはじめとする展示コーナーの設置 や、フリーマーケットや3R紙芝居、エコファッションショー を行いました。こどもから大人まで、環境問題について楽しく 学ぶことができました。

1	環境保全活動に積極的に取り組む 企業などと連携し、有用な地球温暖 化対策情報を提供	金沢エコ推進事業者ネットワークによる研修会等を通じて、地球温暖化対策の有用な情報等を事業者に提供	研修会開催回数:14回 参加企業数(延べ):232社
•	環境に配慮した企業経営のための 専門技術を講義する研修会等の開 催、参加	技術開発ゼミナールに「環境技術の解説コース」を設け、金属資源等のリサイクルについて地球環境に配慮した企業経営のための専門技術の講義を実施	受講者数(2日間):15名
2		金沢エコ推進事業者ネットワークの全体会における講演会、先進企業の視察の実施や、幹事会における研修会の実施	開催回数 全体会:5回 幹事会:6回
3	事業者版省エネチェックシートの作 成・配布、活用	事業所の電気・燃料などの使用量をチェックする「金沢省エネチャレンジ (事業者版環境家計簿)」の配布	配布等普及活動数:2回
4	事業者に対する「地球温暖化防止実 行計画」の策定支援及び策定事業 者の認定	金沢エコ推進事業者ネットワークの運営を通じて、「地球温暖化防止実行計画」の策定、実行を支援	実行計画策定事業者数(市定事業者数):4事業者
5	環境負荷の少ない商品やサービス の提供などを行う「環境にやさしい買い物」取組店舗の拡大(「環境にやさ しい買い物推進店」の登録店舗の拡大)	「環境にやさしい買い物推進店」登録店舗の拡大	登録店舗数:329店舗 (平成24年度末現在)
6	「環境にやさしい買い物」を推進する 小売店舗に対する「エコショップ・アク ションプラン」の策定支援及び策定事 業者の認定	「環境にやさしい買い物」の普及や廃棄物の減量化、地球温暖化防止に 関する取り組みについて、小売り事業者が自主的に作成した行動計画を 「エコショップ・アクションプラン」として認定	実績なし
_		にた環境保全活動をしている個人・団体・事業所を表彰(再掲2-1-6) ギー設備等の設置企業等に対して低金利で資金を融資(再掲1-5-1)	
9	産学連携のもと環境分野等における 新製品の開発を行う企業等へ助成を 実施	再生可能エネルギーを含む環境分野を重点分野とし、企業の新製品・新 技術等の開発に対する支援を強化	助成件数:3件
10	環境に配慮して事業活動を行ってい	金沢エコ推進事業者ネットワークホームページに、会員企業の地球温暖 化防止実行計画や活動状況を掲載	
10	る企業をホームページなどで紹介	環境保全活動推進ガイドブックを金沢エコ推進事業者ネットワークホーム ページで公開	
11	中小企業の省エネなど環境に配慮した取り組みなどを紹介する事例集の 作成、公開	環境保全活動推進ガイドブックを金沢エコ推進事業者ネットワークホームページで公開(再掲2-2-10)	
12	オフィスビルにおける省エネ推進の 仕組みを構築	意向調査をうけて、事業者用太陽光発電設備の設置に対する助成制度を 新設	助成件数:3件
13	省エネ診断や省エネプランを提案するアドバイザーの派遣	エコアクション21の自治体イニシアティブプログラムに参加し、事業者の認証取得に向けた講習会等の運営に協力	参加事業者数:10社
14	企業間排出量取引制度やオフセット・クレジット等の制度の活用	市下水処理施設においてCO2排出量取引(国内クレジット制度)を実施	売却量:138t-CO₂
15	環境基金の創設	基金創設について検討	
16	エネルギー多量排出事業者を対象と した報告制度の構築	報告制度の内容について検討	
	金沢市独自のライトダウンキャンペー	「ライトダウンジャパン2012in 金沢」を実施、実施企業の募集	実施期間:6/21~8/31 実施企業数:42社·施設
17	ンの実施		大心正未致.42位 心故

-3	省エネルギー住宅の設置や省	エネルギー機器の導入を促進します	
1	I I	住宅用燃料電池コージェネレーションシステム(通称「エネファーム」)の設置に対して助成	助成件数:12台
ı	の設直に対する助成を実施	ガスエンジン給湯器(通称「エコウィル」)の設置に対して助成	助成件数:15台
2	省エネ住宅、省エネ機器に関する情報やHEMS、BEMSの運用メリットなどの情報を提供	地球温暖化防止出前講座や講師派遣の実施(再掲2-1-3)	出前講座 開催回数:21回 受講者数:1,099人 講師派遣 派遣回数:4回 受講者数:115人
		金沢エコ推進事業者ネットワークによる研修会等を通じて、地球温暖化対 策の有用な情報等を事業者に提供(再掲2-2-1)	研修会開催回数:14回 参加企業数(延べ):232社
3	住宅の省エネ化や長寿命化を推進	まちなか住宅建築奨励金・いい街金沢住まいづくり奨励金交付条件に住 宅性能評価書又は長期優良住宅の認定通知書の交付を設定し、住宅の 省エネ化や長寿命化を推進	認定戸数 まちなか住宅: 61戸 いい街金沢: 141戸
	する仕組みを構築	市営住宅の延命化を図るため、従前より耐久性の高い塗装材を使用し、 外壁等改善工事を実施	工事実施数:3棟
-4	環境教育・環境学習の充実と	環境リーダーの育成を図ります	
1	金沢ユネスコ・スクールにおける環境 教育を推進	金沢ユネスコスクールの指定での持続発展可能な社会の担い手の育成を 図る	金沢ユネスコスクール指定材数:41校(平成24年度末現在
2	小中学校における「金沢学びタイム」 の創設による持続発展教育を推進	伝統文化や豊かな自然・歴史・食など多様な素材や人材を題材に金沢に ついて学ぶ、金沢「学びタイム」を全小中学校で実施	1校あたりの最低時間数 小学校5年生:12時間 中学校2年生:10時間
3	小学生児童を対象とした「環境キャラ バン隊」活動の実施、参加	金沢市地球温暖化対策推進協議会への委託事業により、省エネをテーマに「夏休みこどもエコ教室」(3回連続)を開催	 エコキッズ認定者数:27名
4	省エネルギー活動に積極的に取り組 む学校等への支援	「かなざわ学校エコプロジェクト」に取り組む小学校に対し、教材の購入や アドバイザーの派遣等を実施	新規実施校数: 2校
4	省エネルギー活動に積極的に取り組 む地域、市民団体への支援	具体的活動目標を定めて地球温暖化をはじめとする環境問題に取り組む 市民団体に対して、アドバイザー派遣等の支援を実施	市民エコプロジェクト取組団体数は団体
5	環境NPO等と連携し、環境学習教 材の開発及び人材育成の支援	「金沢エコネット」と連携し、環境学習教材の開発や人材の育成支援を実施(グリーンコンシューマー養成講座の開催)	養成講座開催回数:全3回 受講者数(延べ):61名
6	地球温暖化防止出前講座の実施、受	講(再掲2-1-3)	
7	各種環境イベントやエコライフセミナー	などの開催、参加(再掲2-1-4)	
8	各地域、各世代を対象とした、地域 住民との協働による環境教育・環境 学習の実践活動を実施	実績なし	
9	大学との連携による環境教育・環境 学習プログラムを作成	環境教育・環境学習プログラム作成の検討	

・ 夏休みこどもエコ教室

夏休み期間中に、再工ネ施設の見学や、ペットボトルで風力発電装置を作る教室など、計3回の活動を実施しました。参加したこどもたちは「金沢エコキッズ」に認定されました。



5	地産地消を進めます		
1	金沢産のスギ柱を使用する木造住 宅の新築等に対する助成を実施	金沢産スギ柱材50 本以上を使用して住宅を建てた市民に対し、木の家づくり奨励金を交付	助成(交付)件数:142件
2	1 1 2 2 4 6 6 6 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	小学校の多目的ルーム等の床や壁を金沢産材を使用して改修し、ぬくもり の教室環境を整備	ぬくもりの教室設置数:4村
_	使用	学校机の天板の制作、取り換えを実施 	天板の取り換え:440枚
3	市の公共事業に間伐材を利用(花壇 柵、ベンチ、看板、杭等)	市の公共事業に間伐材を利用(花壇柵、ベンチ、看板など)	間伐材使用箇所数:17箇層
4	地場農産物を学校給食で利用	地場農産物を給食食材として提供	給食提供回数:3回 (延べ52小・中学校、20保育)
7	地物辰生物で十代和民で利用	学校米飯給食における金沢産一等米使用を支援	
_	地場農産物を使用した料理教室や講習会の開催、参加と伝統料理の	加賀野菜など地場農産物を使用した、市民対象の料理教室や加工講習 会を実施	開催回数:7回 受講者数(延べ):201人
Э	語音芸の用作、参加と伝統料理の 継承	「金沢エコネット」への委託により、地物食材を使った料理講習会を開催	開催回数: 5講座(7回) 受講者数(延べ): 176人
6	朝市などの直売所の開設を支援	直売所の開設等へ支援	支援件数:3件
7	加賀野菜取扱店の登録、加賀野菜 加工品の認証の推進	加賀野菜取扱店登録事業及び加賀野菜加工品認証制度の推進	取扱店舗数:155店舗 認証加工品数:54商品 (平成24年度末現在)
6	公共施設における省エネルギ	- 一機器の導入拡大と職員の省エネルギー行動の徹底を図りる	きす
1	庁内各課所における温暖化防止推 進体制の構築及び担当者研修会の 開催	各職場での省エネ行動を率先的に行うため、各担当推進員を選任し、研修を実施	総括推進員研修:1回 公用車担当推進員研修:
	自主的な省エネ行動の推進	庁内環境情報誌「エコアクション」で、省エネ行動の推進を啓発	エコアクション発刊回数:1
2		内部監査により、各職場での取組状況を確認し、必要な助言・指導を実施	内部監査実施施設数:14
		各職場での省エネ行動を率先的に行うため、各担当推進員を選任し、研修を実施(再掲2-6-1)	総括推進員研修:1回 公用車担当推進員研修:
3	空調設備や照明設備などの適正な 運用	空調設備の適切な温度管理、不使用時の消灯、コピー用紙の節減、蛍光灯の間引き、OA機器の省エネ設定、エレベーター稼働時間の縮減などを実施	
4	「金沢市グリーン購入方針」に基づき、環境負荷の低減に資する製品を 調達	「金沢市グリーン購入方針」に基づき、環境負荷の低減に資する製品等を 調達	グリーン購入割合:98.859
	庁舎、学校、公園や道路照明灯など にLED照明器具を設置	市有施設、市道路などにLED照明器具を導入	導入基数:1,721基
5	市有施設の耐震化工事に併せて省	学校耐震補強工事に伴うトイレ改修において、照明のLED化・節水タイプの便器の採用	工事実施校数:12小・中学 (うち4校でLED照明導入)
5 6	エネ改修を実施		l
5	エネ 改修を実施 市有施設における断熱構造等省エネ建物の導入	市施設において、省エネ法に基づく「特定建築物に係る届出」を提出	施設数:1件 (西金沢駅西広場シェルタ

基本方針3 公共交通の利用促進と快適に歩ける金沢らしいまちづくりの推進を図り、人と環境にやさしい 交通環境を築きます

施策 NO	「低炭素都市づくり行動計画」 に掲げた市の施策	平成24年度 実施の施策・取り組み	実績
3-1	公共交通の利便性を向上しま	ु	
1	北陸新幹線開業に向けた新交通シ ステム(まちなかシャトル)の導入	新幹線対応型新バスシステム「まちなかシャトル」導入に向け、平日の運 行実験を実施	利用者数: 207,315人(44人/便)
2	パーク・アンド・ライドの拡充、利用促 進	通勤時パーク・アンド・ライド:駐車場17箇所(379台分) 観光期(5月GW)パーク・アンド・バスライド:臨時駐車場(1300台分)	利用台数 通勤時:224台 観光期:812台
3	金沢ふらっとバスの運行、利用促進	金沢ふらっとバス4ルートの安定的な運行を図るとともに、利用促進策を実施	4ルート乗車人数: 762,738人
4	ノンステップバスの導入促進	交通事業者のノンステップバス購入に対して助成	助成件数:4件
5	バスの走行環境の向上	金沢駅東口バスターミナル専用車線導入実験	実験実施:5月12日~8月5日 本格実施:8月6日~
6	バス待ち環境の向上	乗換案内情報提供システムの整備により、バスく〜るや駅すぱあと等の 乗換案内システムへバス情報を提供	

❤ 金沢ふらっとバス

金沢ふらっとバスは、公共交通が不便な地域を中心に、住宅地と交通結節点や商店街などを結ぶ循環バスで、市民の気軽な足として利用されています。



3-2	歩く人にやさしい交通環境を整備します				
1	歩道の段差の解消	歩道の段差解消、フラット化及び誘導ブロック設置	整備箇所数: 2箇所		
2	無電柱化の推進	都市景観の向上など快適な歩行空間の確保を図るため、無電柱化を推進	実施箇所数: 4箇所		
	生活道路など歩道が確保されていな	地元などからの要望を受け、外側線が消えている道路などにラインを表示			
3		近江町市場から香林坊に自転車走行帯及び歩行者安全のための外側線 を表示	整備箇所数:9路線		





整備前

整備後

→ 無電柱化の整備路線

写真のお堀通り(大手町)は、整備前は車両交通 量が多い上、民家側の歩道が未整備でした。

歩道の新設と併せて無電柱化を行ったことで、景観の向上及び、安全で快適な通行空間を確保することができました。

3-3	快適な自転車利用環境を創出	します	
1	公共レンタサイクルの実施、活用	公共レンタサイクル「まちのり」の運営と利用者の調査を実施	貸出·返却箇所:20箇所 自転車数:155台 利用者数:30,127人
2	まちなかの幹線道路と細街路を組み 合わせた自転車ネットワークの整備	まちなか自転車利用環境向上計画で位置づけられた自転車ネットワーク における自転車通行空間整備を順次実施	整備区間:約3km
٥	交通結節点(駅、バス停)、公共公益 施設、観光地、業務・商業地の周辺	駐輪場内の長期駐輪への対応を継続的に実施するとともに、長期駐輪自 転車の返還手数料を徴収し、適正な駐輪スペースを確保	
J	ル設、観光地、条例・筒条地の周辺 における駐輪スペースの整備	金沢駅西広場地下、此花町、観音堂バス停前、上荒屋バス停前へ駐輪 場を整備	駐輪場新設箇所数:4箇所
4	自転車通行空間・通行位置の明示など、安心して自転車走行ができる環境の整備	まちなか自転車利用環境向上計画で位置づけられた自転車ネットワーク における自転車通行空間整備を順次実施(再掲3-3-2)	整備区間:約3km
5	自転車利用ルールの遵守・マナーの向上	ー 中学校1校を自転車マナーアップモデル校に指定し、各種事業を実施	
		自転車マナーアップ強化運動及び自転車ルール・マナー検定を、市内の 全中学1年生、高校4校を対象に実施	
3-4	マイカーから公共交通への利力	・ 用転換を促進します	
	公共交通利用促進に向けた意識の 高揚のために「公共交通利用促進市 民会議」等を開催	公共交通利用促進会議、地域・企業への啓発、こども交通ひろばの開催 等により、意識啓発を実施	啓発人数:10,000人以上
2	小学校における交通環境学習の実 施	自転車安全教室と併せて、小学3年生を対象に金沢版交通環境プログラム「導入版」を実施し、さらに「発展版」を希望する小学校に対して出前講座などで授業を支援	発展版実施校数:4校
3	「エコ通勤促進アクション・プラン」の 策定・支援	エコ通勤促進アクションプランを策定した企業とエコ通勤促進協定を締結	実績なし
4	公共交通の利用の促進に著しく貢献 した企業や団体等を表彰	公共交通の利用の促進に著しく貢献した企業や団体等を表彰	実績なし
3-5	まちなかへの過度なマイカー流	命入を抑制しつつ、まちなか定住、就業促進に努めます	
1	まちなか荷捌き駐車対策の実施	荷捌き駐車場の確保及び運営を実施	荷捌き駐車場利用台数: 2,52 (3箇所合計の月平均台数)
	まちなか区域内での定住を促進する ため、住宅建築等に対する助成を実 施	まちなか定住促進事業により、中心市街地における住宅の建築に対して 助成を実施	まちなか住宅建築奨励金交付数:61件
3	中心市街地へのオフィス進出に対す る助成を実施	中心市街地業務機能集積促進事業により、中心市街地等への事業所の 誘致を推進	助成認定件数:1件
4	「歩けるまちづくり協定」締結地区に おける通過交通の抑制	「歩けるまちづくり協定」締結地区における交通規制の実施	

❤️公共レンタサイクル 「まちのり」

「まちのり」は、だれでも簡単に利用できる、人に も環境にもやさしい公共レンタサイクルです。

サイクルポートは、事務局をあわせて市内 20 箇所に設置されています。



	 		
3-6	エコカーの導入を進めるとともに、効率的な自動車利用を推進します		
1	民間企業等に対する天然ガス自動 車や電気自動車などエコカーの普及 促進	民間企業等へ天然ガス自動車について普及促進	導入台数:16台
2	 再生可能エネルギー設備や省エネル 	ギー設備等の設置企業等に対して低金利で資金を融資(再掲1-5-1)	
3	エコドライブ講習会の開催、参加	10月開催の「エコフェスタ」において、エコドライブ講座(市民エコドライブ講座、タイヤの空気圧点検)を実施	講座実施回数: 2回
4	エコドライブリーフレットの作成・配 布、活用	エコドライブリーフレットを作成し、エコドライブキャンペーン等で配布	配布等普及活動回数:1回
5	渋滞緩和のため、立体交差の設置 及び環状道路の整備	海側環状道路の一部を整備	整備区間:L=530m
6	観光地周辺などの渋滞を緩和するため、駐車場への案内を実施	駐車場案内システム(案内板、インターネット、携帯電話等)による情報提供	案内板基数:35基 (平成24年度末現在)
7	タクシー事業者などを対象とした電気 自動車の購入に対する助成を実施	事業者の電気自動車購入に対する補助について検討	
8	電気自動車の充電設備の設置に対 する助成を実施	集客施設での充電設備の設置に対して助成	実績なし
9	一定台数以上の社有車を保用する 事業所等を対象とした報告制度を構 築	報告制度の内容について検討	
3-7	市公用車におけるエコカーの製	事入拡大と職員のエコドライブの徹底を図ります	
1	エコドライブの推進	公用車のアイドリングストップ等省エネ運転を推進	公用車における燃費 ガツル(HV含): 9.2km/L
'	エコトプイプの推進	各職場公用車担当者に対し、エコドライブ講習会を実施	講習会開催回数:1回
2	公用車の共有使用(カーシェアリング)を推進し保有台数を削減	職員業務管理システムのカレンダー機能を利用し、カーシェアリングを実 施	公用車保有台数:773台 (平成24年度末現在)
3	「自家用車通勤自主規制実施要領」 により、市職員のマイカー通勤を原則 禁止	「自家用車通勤自主規制実施要領」に基づき、職員のマイカー通勤の原則禁止、例外者のパーク・アンド・ライド利用推進を周知	
4	公用車の低公害車導入方針(計画) を策定し、電気自動車、天然ガス自 動車等に順次更新	公用車に低公害車を導入	導入台数 天然ガス自動車:13台 電気自動車:3台 ハイブリッド車:5台



❤ エコドライブ講座

11月の「エコドライブ推進月間」に先駆け、10月下旬のエコフェスタにおいて、市民を対象にエコドライブ講座及びタイヤの空気圧無料点検を実施しました。

エコドライブの普及啓発や車両管理、燃費への意識を高めました。

基本方針4 緑化の推進と森林の再生を図り、二酸化炭素の吸収源の確保と熱環境の改善に努めます

施策 NO	「低炭素都市づくり行動計画」 に掲げた市の施策	平成24年度 実施の施策・取り組み	実績
4-1	森林を整備し、二酸化炭素の	吸収源対策を行います	
1	水源涵養林等の植林用地を確保し、 「水源環境保全協定」の締結により 植林を実施	「水源環境保全協定」の締結等により、平成23年から5カ年計画で植林を 実施	植林面積: 2,360㎡ (平成23年度末時点、平成24年 度は実績なし)
2	「ふるさとの森づくり協定」を締結した 区域における民有林の整備に対し助 成を実施	人工林を整備するための間伐や枝打ち、天然生林を再生するための老齢 木や荒廃竹林の伐採、伐採木の搬出路開設、実施後に植栽する苗木購 入費に対し、それぞれ助成を実施	助成による整備面積:163ha
2	森林管理、林産物生産などの担い手		研修生人数: 2期生12名
3	を育成するため「金沢林業大学校」を 運営	研修生や修了生に対し、森林管理や農林産物の生産に必要な初期投資 を支援	
4	「金沢市営造林契約」に基づき、間 伐、枝打ち、選木等の保育事業を実 施	金沢市営造林契約に基づき、雪起し、下刈、除伐、間伐、枝打ち、選木等の保育事業を実施	保育事業実施面積: 666ha
5	「森づくりサポートバンク」を運営し、 市民と団体のボランティアによる森づ くり活動を支援	森づくり活動に関心のある市民、団体を支援するため、「森づくりサポート バンク」会員を募集し、情報提供や講師派遣、道具の貸し出しを実施	登録団体数:39団体 会員数:4,979名 (平成24年度末現在)
6	森づくり専門員を講師とした森づくり 出前講座や森づくり教室を開催し、 市民や企業との協働による森づくりを 推進	森づくり専門員を設置し、森づくり出前講座や森づくり教室の開催等を行う 「市民と企業の森の推進事業」を実施	出前講座実施回数:38回 受講者数:3,232名
7	森林整備を行う団体に対し、CO₂吸収量を認証	CO2 吸収量を認証し、企業等の森づくり活動の促進及びPR を実施	認証団体数: 4団体 認証CO ₂ 吸収量: 7.52t

❤ 金沢林業大学校

金沢市が運営する「金沢林業大学校」では、

- ・ 小型林業機械の技能講習、山村経営、森林管理
- 植栽、下刈り、間伐、枝打ち、搬出
- ・キノコや中山間地の野菜の栽培

など、様々な研修を行っています。





☆ 森づくりサポートバンク

森づくり活動をサポートする講師派遣や道具の貸出、情報交流を行っています。

森づくり出前講座では、森づくり専門員の講習や、 実際に森の中での体験学習を実施しています。

-2	斜面緑地とまちなかの自然を	保全し、ヒートアイランド現象を緩和します	
1	景観条例により、建築行為の際に敷 地内緑化を励行	景観条例に定められた区域において建築の届出があったものに対して敷 地内緑化を指導	指導件数:704件
2	「斜面緑地保全区域」を指定し、高木 緑化や適正管理に対し助成を実施	保全区域内の斜面緑地保全のため、市民が行う緑化推進に対する財政 的支援、災害防止に対する指導等の技術的援助を実施	補助件数 高木緑化:7件 巨木適正管理:5件
3	「風致地区」、「斜面緑地保全区域」 において緑被率を設定し、緑化を推 進	「風致地区」では許可制、「斜面緑地保全地区」においては届出制として 申請させ、中高木等の植栽を指導	風致地区許可件数: 42件
4	「特別緑地保全地区」での建築行為 を制限し、緑地を保全	特別緑地保全地区の指定により建築行為等を制限し、管理者への管理奨 励金交付により良好な管理を継続	交付件数:67件
5	保存樹、保存樹林、景観樹等の指定 により寺社や民有地に残された巨 樹・樹林を保全	金沢市保存樹、保存樹林、景観樹等の指定により寺社や民有地に残された巨樹・樹林を保全	保存樹 保存樹指定本数:127本 保存樹林指定箇所数:53箇 景観樹 景観樹指定本数:11本 景観樹林指定箇所数:1箇i
6	中心市街地における屋上、壁面等緑 化に対し助成を実施	中心市街地の屋上、壁面等緑化へ助成	実績なし
7	「まちなか住宅建築奨励金」などの 交付条件に緑被率を設定し、住宅地 の緑化を推進	「まちなか住宅建築奨励金」、「いい街金沢住まいづくり奨励金」の交付の 認定条件に緑被率を設定し、住宅地の緑化、景観向上を推進。	認定戸数 まちなか住宅:61戸 いい街金沢:141戸
,	公共施設における緑化を推進	野田山墓地松林等を保護するため、伐倒駆除、樹幹注入などの松食い虫 防除を実施	伐倒駆除:1回(34本) 樹幹注入:1回(51本)
ŏ		東西環境エネルギーセンターにおいて屋上緑化を実施し、省エネ効果を検 証するため温度調査等を実施	
9	広域的な水と緑のネットワークの形 成	西部緑道の整備を継続	
10	種子等の配布などにより緑のカーテンを普及	グリーンカーテン普及啓発事業により、市有施設へゴーヤ苗等の緑化資 材を配布	緑化資材配布施設数:59施設
10		金沢エコネットへの委託により、あさがおカーテン講座を開催	
11	架橋の規制などにより用水の開きょ 化を推進	法定外公共物管理条例により水路の架橋を規制し、指導を実施	周知チラシの配布:約2,000件
12	各種団体や地域コミュニティと連携し た打ち水の実施	打ち水実施の手法について検討	



♥グリーンカーテン

金沢市では、学校施設をはじめ、多くの市有施設で グリーンカーテンを実施しました。(写真:中村町保育所) 夏の強い日差しを和らげ、葉の蒸散作用で周辺の温度 を下げ、室温の上昇を抑えます。

基本方針 5 廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を進め、循環型社会を形成します

施策 NO	「低炭素都市づくり行動計画」 に掲げた市の施策	平成24年度 実施の施策・取り組み	実績
5-1	3R推進のための普及啓発とf	- 青報の提供を行います	
1	市民・事業者との協働による環境教育や普及啓発活動の実施	金沢53ダイエット・ネットワークへの委託事業により、家庭系・事業系の廃棄物の減量化を推進	
2	環境イベントや出前講座による普及 啓発活動の実施	小学校や町会を中心にごみ出しマナーなどの出前講座を実施	実施回数:13回 受講者数:700人
	町会、大学などを対象とした分別収 集説明会の開催	大学・短大・専門学校でごみ出しマナーの指導説明会を開催	開催回数: 28回 参加人数: 3,527人
3		町会、各種団体で、ダンボールコンポストを使った実践的な出前講座や3 R推進についての説明会を開催	開催回数: 21回 受講者数: 624人
		新規外国人留学生を対象に、ごみの分別方法等を説明するガイダンスを 開催	開催回数:6回
		3R(Reduce、Reuse、Recycle)の中でも特にReuseに注視し、環境に配慮した生活の楽しみ方につながる3Rカルチャー教室を開催	開催回数:13回
4	を拠点とした環境教育の推進 ※クリーンセンター:平成24年度より環境エ	遊びや工作を通じて3Rを意識してもらう、ファミリー向けテーマイベント「とむろひろば」を開催	開催回数:5回
	ネルギーセンターへ改称	西部環境エネルギーセンター環境学習推進事業により、金沢エコネットへ環境学習講座を委託・開催	
5	携帯電話やパソコンのメールでごみの収集日を通知する金沢「ごみゼロ」 ドットコムの活用	金沢「ごみゼロ」ドットコムにより、ごみ出し日や出し方などをメール配信	登録人数:19,843人 (平成24年度末現在)
6	事業系ごみの減量化に関する研修 会や講習会の開催、参加	「廃棄物減量化計画書」の提出義務のある事業所等を対象に「事業系ご み減量化に関する研修会」を開催	開催回数: 1回 参加人数: 52人
7	廃棄物の適正排出及び減量化・資 源化に優れた取り組みをした事業所 を表彰	廃棄物の適正排出及び減量化・資源化に優れた取り組みをした事業所を「いいね金沢環境活動賞」で表彰	



⇔とむろひろば

戸室リサイクルプラザにおいて、かえっこバザール やエコ工作など、3Rについて楽しく学べるイベント が盛りだくさんの「とむろひろば」を開催しています。

かなざわエコキャラクター アールちゃん



_	ごみの減量化と資源化を進め	まり	
		金沢53ダイエットネットワークとともに、燃やすごみに含まれる厨芥類の減量化を推進	
1	ダンボールコンポストを利用した生ご みの堆肥化を推進	金沢産農林廃材(竹チップ・もみ殻)を活用した地産地消型ダンボールコンポストを販売	
		町会、各種団体で、ダンボールコンポストを使った実践的な出前講座や3R 推進についての説明会を開催(再掲5-1-3)	説明会開催回数:21回 参加人数:624人
2	食品廃棄物排出事業者に対する排 出抑制指導を実施	「食品衛生責任者講習会」等で、食品リサイクルの重要性を周知	講習会開催回数:3回 受講者数:639人
3	内容物調査の実施と分別指導の徹 底	東西環境エネルギーセンターにおける内容物調査の実施及び紙ごみの多量排出者に対してリサイクルを要請	
4	マイバッグ持参による買い物、環境負	- 荷の少ない商品の購入など、「環境にやさしい買い物」を推進(再掲2-1-5)	
5	環境負荷の少ない商品やサービスの 大)(再掲2-2-5)	提供などを行う「環境にやさしい買い物」取組店舗の拡大(「環境にやさしい	買い物推進店」の登録店舗の
,	資源化物の自己搬入コーナーの運	東西管理センターにて、小型家電の自己搬入を実施	
О	用拡充と地域回収地点の設置拡大	市内のスーパーマーケットにおいて、古紙等を定期的に回収する「リサイク ルステーション」を実施	設置箇所数:5箇所 (平成24年度末現在)
7	集団回収登録団体の拡大及び助成 の継続	集団回収団体に対して助成を実施	登録団体数:122団体 (平成24年度末現在)
	「学生リユース市」や「かえっこバザール」の開催など市民・事業者によるリユース活動の支援、実施	とむろひろば開催に合わせ、かえっこバザールを開催	開催回数:5回
8		学生リユース市の開催を支援	開催回数:1回
9	下水処理で発生する汚泥をアスファ ルト舗装材料の一部として有効利用	下水処理で発生する汚泥焼却灰をアスファルト舗装材料の一部として有効利用	有効利用率:24.3%
	共同調理場で排出される野菜くずの 堆肥化を実施	共同調理場5施設から排出される野菜くずを再生利用事業者へ運搬し、堆 肥化して再生利用	運搬処理量:74t
	浄水処理過程で発生する汚泥脱水 ケーキを全量園芸土に再利用	浄水汚泥脱水ケーキを園芸土として再利用	再利用量: 560t
2	焼却施設から排出される焼却残渣を 有効に利用	焼却残渣のセメント化等有効利用の課題について検討を実施	
3	ごみ処理施設等における発電	と余熱利用を行います	
11	市の焼却施設での廃棄物発電の実施(周辺施設への電力供給)	東西環境エネルギーセンターにおいて、廃棄物発電を実施	年間発電量: 57,825MWh
	市の焼却施設による余熱を周辺施設で利用(焼却余熱を温水プール等に利用)	東西環境エネルギーセンターにおいて、焼却余熱を温水プール等に活用	年間利用蒸気量: 14,465t
0	下水汚泥焼却炉の廃熱を下水消化	汚泥焼却炉の廃熱による温水を消化タンクの加温に利用	温水利用量:135,520㎡